

ゆうこうこう便り

発行:北口雄幸事務所
士別市東3条北7丁目
Tel0165-22-3100
fax0165-23-4356

ふるさと
今年こそ元気な郷土を

輝かしい新年を心よりお喜び申し上げます。



北海道においても大きな影
り、このことは残念ながら、
も大変厳しい経済状況に陥
融危機から、日本において
さて、昨年は世界的な金
び申し上げます。



新年、
明けまし
ておめで
とござ

謹賀新年

響をつける事になります。
働く皆さんは、雇用不安
に陥り、農家の皆さんは肥
料などの生産資材高騰の影
響を受け、中小企業や商店
も皆さんにおいても、長引
く景気低迷で大変な状況で
あります。
私は、もっとふるさとの
皆さんが元気を取り戻せる
よう、これからも道議会で
議論させていただきます。
そして今年こそ、国民の
生活を第一に考える民主党
に政権を担当させていただ
き、佐々木隆博代議士の再
選を勝ち取らなければなり
ません。

北口ゆうこう道議と語
る新春の集いのご案内

輝かしい新年を迎え、皆様い
かがお過ごしでしょうか。

さて、「北口道議と語る新春
の集い」を下記のとおり計画い
たしました。多くの皆様のご来
場をお待ちしています。

とき：2月6日(金)18時～

ところ：士別グランドホテル

会費：2,500円

主催：北口雄幸士別市後援会

【会券のお求め先】

北口事務所(東3条北7丁目)

電話 0165-22-3100

FAX0165-23-4356

皆さまにとってより良い
一年となりますようご祈念
申し上げます、変わらぬご支援
をお願いし、年頭にあたっ
てのご挨拶とさせていただきます。
北海道議会議員 北口雄幸

チェンジ！ニッポン！



衆議
院議員
として、
4回目

の新年を迎えさせていただ
きました。この間に総理大
臣は次々と政権を投げ出し
4人目になっています。し
かし一方で、百年に一度の
世界的な金融危機と言いな
がら、補正予算は先送りし、

結局国民生活にしわ寄せが
きてしまうことを、肝に銘
じなければなりません。
「聖域なき改革」は、8
年間様々な問題を生み出し、
結果として地方と生活者に
痛みを押しつけてきました。
私は、政治は「現場」の
声が活かされ、「生活」が重
視され、「ふるさと」が大切
にされることと考えます。
様々な角度から複眼的に
観る『虫の目』による把握と、
グローバルに俯瞰し眺る
『鳥の目』による判断と、時
代の潮目を視る『魚の目』に
よる決断が、政治に求めら
れています。「生活第一」「地
方主権」への「チェンジ」
を改めて決意します。
衆議院議員 われき隆博

第四回定例道議会報告(11月27日、12月11日)

平成20年第4回定例道議会は、11月27日に会期を12月11日までの15日間と決め開会しました。

今定例議会では、財政課題、地方分権課題、地域医療対策、景気・雇用対策など、多くの課題を議論しました。民主党・道民連合は、代表格質問に勝部賢志議員(江別市)が登壇、一般質問では、4名の議員が当面する道政課題や地域課題など、道の取り組み状況について質問しました。

北口道議は、予算特別委

員会で、地域医療、福祉灯油、夕張市への支援などについて質疑しました。

公民法の全摘で改革を

問 江差、紋別、羽幌の3つの道立病院は、地域センター病院に指定され、地域の中核的病院に位置づけられているにもかかわらず、道の計画では指定管理者への管理移管を予定している。しかし、紋別病院は広域連合での運営方針が示され、検討が進められている。

まずは、広域化・連携構

想を推進するためにも、道立病院については、地方公営企業法の全部適用を行う中から改革を進め、その後様々な運営方法について検討するべきではないか。

答 道立病院は、当民間の能力を活用する指定管理者制度の導入が有効と考えられており、現在実施している他の自治体の事例調査を年度内に終え、さらに検討していきたい。

生保世帯も補助対象に

問 灯油価格は、最近値下がりしたとはいえ、依然80円を超えた金額で推移している。一方、生活保護世帯に支給される冬季加算及び冬季薪炭費は、ここ近年全く引き上げとなっていない。

そのことから、各市町村では、生活保護世帯にも福祉灯油を支給する動きが広がっている。道としても、市町村を支援する立場で、生活保護世帯も支給対象にすべきではないか。

答 この度の原油等の高騰

に伴う生活保護世帯への影響を考慮し、これまで国に対し冬季加算などの増額について強く要望していく。また、福祉灯油事業については、今後においても灯油価格や国の動向などを注視し、市町村の意見を十分聞きながら、事業の実施等について検討していく。

積極的に夕張支援を

問 先日、総務大臣が夕張市を視察したが、その際、夕張市長から診療所の改築と公営住宅の集約化などについて要請がされた。道としてどのような支援が可能なのか。

答 診療所の建て替えは、市民が将来に向けて安心して暮らしていくためにも大変重要だ。施設の改築にあたって必要となる専門的、技術的なアドバイスなどを積極的にやっていく。

市営住宅の集約化は、コンパクトなまちづくりを進める上で必要な課題だ。道としては、夕張市が取り組

んでいる市営住宅の再編調査事業に対し地域再生チャレンジ交付金による支援や技術的な助言などを行っていく。

採択された意見書

北海道の自衛隊体制維持を求める意見書 国籍法改正に関する意見書 私学専修学校に対する財源措置に関する意見書 レセプトオンライン請求の義務化に関する意見書 公共職業安定所の体制見直しに関する意見書 「食の安全確保」及び「消費者安全の確保」への取り組み強化を求める意見書 独立行政法人雇用・能力開発機構が設置する公共職業能力開発施設の存続に関する意見書 矢白別演習場における沖縄県道104号越え実弾射撃訓練の分散・実施に関する意見書 第2期地方分権改革に係る第2次勧告に対する意見書 WTO農業交渉に関する意見書 電源立地地域対策交付金電力移出県等交付金相当分の本道における制度運用を求める意見書



地域医療、福祉灯油、夕張問題を質問する北口道議(12月5日)

写真で振り返る北口道議の活動記録(10月、12月)



利尻町で離島のご意見を伺う道政懇話会(10/10)



きたごりんファームで収穫した籾殻を脱穀(10/4)



士別市菊花展で菊の会の皆さんと記念撮影(11/2)



士別市功労賞・社会貢献賞表彰式(10/31)



11・23 幌延デー北海道集会で挨拶(11/23)



富良野市労連退職者会結成20周年記念(11/8)



士別農民連盟の皆さんが高橋知事に農業支援の要請行動を行い記念撮影(11/27)



街宣活動(右から、木村道議、塩尻旭川市議、三井道議、私、田島道議、日下道議)(11/19)

北口ゆうこう奮闘日記

http://y-kitaguchinet/

北口道議の奮闘ぶりをブログから抜粋してご紹介します。(10月~12月分)

10月18日【さっぽろ市士別ふるさと会】

今日、札幌で士別とゆかりのある方で組織する、さっぽろ市士別ふるさと会(若林滋会長)の第24回になるふるさとの集いが開催され、私も出席させていただきました。ふるさと会は、ふるさと士別を応援しようと札幌市に居住する皆さんで組織し、早四半世紀が経とうとしている。



さっぽろ市士別ふるさと集い

この間、士別ふるさと育英資金を士別市に寄付していただくなど、物心両面でお世話になっており、とてもありがたいと心強い限りだ。また、冒頭、若林会長のご挨拶でも「ふるさと納税に協力しよう」と声を掛けていただくなど、頼もしい限りだ。私は、「日頃のご支援の感謝し、これからは情報

がとて重要だ。情報の提供をお願いし、もつと士別が元気になるよう頑張る」とのご挨拶し乾杯の音頭をさせていただきました。今後とも、いつまでもふるさとを思っていただき、私たちが元に残っているもの達も必死になってふるさとを守るよう努力しなければと思つたところだ。

11月3日【富良野市功労者表彰式】

今日は文化の日。その文化の日に富良野市功労者表彰式が行われ私も出席してきた。今年の表彰者は、自治功労の杉野信幸氏、産業・経済功労の東海林敏昭氏、保健・医療・福祉・



富良野市功労者表彰式

環境功労の玉手洋子氏、教育・文化・体育・科学技術功労の難波英昭氏の4名である。能登市長の式辞のあと、私にもご挨拶の機会をいただき、地域力とケネディ大統領の言葉をご紹介させていただいた。これから、お身体に気をつけ、地域で活躍してほしいと思つている。

11月29日【文化を語る夕べ&交流会】

今日、士別文化協会(卯城孝浩会長)主催の文化を語る夕べと交流会が開催され、私も参加させていただいた。文化を語る夕べでは、冒頭ミニ講演会があり、士別市郷土芸能つくも太鼓の岸梅健治氏

が、「つくも太鼓の歴史」と題して講演をいただいた。

つくも太鼓は、昭和49年に「つくも青年太鼓会」として発足し、昭和51年に現在の「つくも太鼓」に名称変更し、現在は17名の会員で士別の郷土芸能を守つていただいているとのことだ。その後、士別市の文化活動に対する表彰式が行われ、私の近所に住む山前内利氏が士別愛石会の活動に対する貢献を評価され貢献賞を受賞し、トヨタ自動車士別試験場の皆さんと士別民謡サークル一桜会の森脇一彦氏が奨励賞を受賞した。その後、参加者全員で交流会を行い、楽しいひとときを



文化貢献賞を受賞する山前内利氏(左)

過ごさせていただいた。士別市文化貢献賞「山前内利氏(士別愛石会) 士別市文化奨励賞「トヨタ自動車士別試験場(ポラントイア活動)、森脇一彦氏(士別民謡サークル一桜会)」

【つづいて】

昨年(08年)の世相一文字は「変」である。これは政治や経済、生活、気候などが変化し、未来に向けた変化の期待から、この漢字に決まったようだし、日本の総理大臣はその変化について行けないようである。麻生総理は、当初自らを選挙管理内閣と言いながら、形勢が悪いと判断するや「政局より政策」と言いだし、解散総選挙を先送りした。だが、肝心の追加経済対策は国会に提出していない。世界的な景気悪化で、首を切られた労働者や中小企業の経営者、肥料などが値上がりする農家の皆さんから悲鳴が聞こえる。きつと、今年中には必ず選挙が行われる。国民の正しい判断で国政を「変化」させ、国民の生活が第一の政治を目指していこう。(ゆうこう)